

こんな様子、気になりませんか？



上手に話すのに
書けません



落ち着きがありません



どうしても
苦手な感覚があります



スケジュール変更が苦手です



待つことが苦手です

のかなどを分かりやすく示すことで落ち着くことがあります。冗談や抽象的な言い方が分からない子には具体的に分かりやすく伝えてください。あなたを困らせているその子は実は「困っている」のかもしれないと理解をすること、そしてその困っている内容を理解できれば、次に何をしたら良いかが分かってきます。その子の苦手を無理矢理に克服させるのではなく、その子に苦手があることを認め、その苦手を別の工夫で補いながら、得意を生かしていく工夫が大切になってきます。

みんな違ってみんないい

みんなが当たり前前にできることができないのは努力不足ではなく、見えにくい障害のせいかもしれません。足が不自由な人に「歩かないのはあなたの努力不足。みんな普通に歩けるのに歩けないのはおかしい」とは言いません。より使いやすい車いすを開発したり、段差をなくしたり、エレベーターを設置したりといったさまざまな工夫が私たちには求められています。

発達障害の子どもたちのために

できること、それは何でしょうか。みんなと同じことをすることが苦手な子に、みんなと同じようにさせようとしたら大変です。「みんな違って、みんないいんだよ」という視点で見ていくことが、理解の第一歩であると思います。

あなたの理解が必要です

ある発達障害を抱え、大人になった人がこんなことを言っていました。「自分のことを理解して欲しい。理解のない支援はいらぬ。今まで一番自分を苦しめてきたのは、無理解なのに熱心な人たちだった」と。

発達障害などの相談窓口

「発達障害の特徴を知りたい」
「診断はどう受けたらよいか？」
など発達障害に関する悩みや相談、ほかにも福祉、教育、就労、余暇活動の情報提供に応じます。

○保健医療センター

☎67◆1151

○障がい者支援センター

☎68◆3612

○ささゆりの会

☎090◆6096◆5796